



— えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座 —

2025「ふるさと江別塾」

市と市内四大学の連携協力により、大学が保有する専門的知識と人材を活用し、充実した学習機会の場として、「ふるさと江別塾」を開講します。

各回先着100名・受講料無料

【申込方法】9月1日（月）から各回の10日前までに、Web フォーム、FAX、電話でお申込みください。

※電話の受付時間は平日の9時から17時までです。



第1回 10月11日（土）

開講式 9:15～9:30

講義1 9:30～11:00

講義2 11:10～12:40

北翔大学

会場／7号棟2階 722教室

不登校・行きしぶりのこども・家庭の理解と関わり

教育文化学部 准教授 澤 聡一 氏

（シンポジウム）不登校・行きしぶりのこどもと家庭のために、学校と地域ができること

江別子どもの居場所ニーズ調査グループ（調査代表 澤 聡一 氏）

第2回 10月18日（土）

講義1 9:30～11:00

講義2 11:10～12:40

北海道情報大学

会場／校舎棟1号館 106教室

雇用の未来

経営情報学部 教授 向原 強 氏

昔、こんな英語の授業、受けたかったな～

経営情報学部 准教授 ライアン ジョエル 氏

第3回 10月25日（土）

講義1 9:30～11:00

講義2 11:10～12:40

酪農学園大学

会場／C1号館 101教室

知らずに食塩をとりすぎていませんか？～健康長寿のために～

農食環境学群 食と健康学類 准教授 木村 宣哉 氏

酪農から考えるがんばらない生き方

農食環境学群 循環農学類 教授 吉野 宣彦 氏

第4回 11月1日（土）

講義1 9:10～10:40

講義2 10:50～12:20

札幌学院大学

会場／G館1階 SGUホール

人生100年時代の“しあわせな老い”を考える

人文学部 准教授 新田 雅子 氏

心理学部 教授 斉藤 美香 氏

閉講式 12:20～13:00

市民カレッジ学位授与式

＜主 催＞ 江別市・江別市教育委員会

※えべつ市民カレッジ受講シールは、1講義ごとにお渡しします。

※閉講式に合わせ、市民カレッジの学位認定者に終了証の授与式を行います。

※全8講義の受講者には閉講式で修了証をお渡しします。

お申込みは江別市教育委員会生涯学習課（江別市高砂町24-6）

TEL 381-1062 FAX 382-3434

e-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

＜講義内容＞

第1回

10月11日(土)

北翔大学

江別市文京台23番地（地域連携センター）
電話011-387-3939

会場／7号棟2階 722教室



講義
1

9:30~11:00

不登校・行きしぶりのこども・家庭の理解と関わり

教育文化学部 心理カウンセリング学科 准教授 澤 聡一 氏

【講義内容】近年、不登校・行きしぶりのこどもたちが増え続けています。「学校に行くことだけがすべてではない」という考え方の広がりが背景の一つとされていますが、同時に、多様な背景を持つこどもや家庭が、学校や社会のなかで生きづらさを感じていることも、見逃せません。本講座では、近年の不登校・行きしぶりの理解に加えて、令和6年度江別市大学連携調査の結果をご報告します。不登校・行きしぶりについて、改めて考えてみませんか。

【プロフィール】北海道大学文学部人文科学科卒業後、九州大学大学院人間環境学府に進学。九州大学や、NPO 法人九州大学こころとそだちの相談室、私立学校（常勤スクールカウンセラー）などの勤務を経て、現職。大学勤務の他に、江別市内外の学校で、スクールカウンセラー等の勤務を行っている。臨床心理士・公認心理師。2024 年度から、江別市内の不登校・行きしぶりの支援団体等と協力して、江別市におけるこどもの居場所ニーズ調査を行っている。

講義
2

11:10~12:40

（シンポジウム）不登校・行きしぶりのこどもと家庭のために、学校と地域ができること

企画：江別子どもの居場所ニーズ調査グループ（調査代表 澤 聡一 氏）

【講義内容】ひとりひとりが異なる背景を持つ、不登校・行きしぶりのこどもと家庭のために、江別市の学校と地域では、どのようなことができるでしょうか。当事者（不登校のこどもの保護者：川島 美南 氏（バジルの会）、福祉（発達・子育て支援：川岸 尚史 代表（ことのは発達相談室）、教育（学校現場：神守 一志 教授（北翔大学））という異なる立場の方々からのお話を聴き、皆さまと一緒に、私たちができることを考えてみたいと思います。

【プロフィール】3 名の方（五十音順）に話題提供を行っていただきます（企画：江別子どもの居場所ニーズ調査グループ）。

- ・神守 一志 氏：北翔大学教育文化学部教育学科 教授。専門は、学校経営、教育課程、学習指導、学級経営。江別市内学校での勤務経験を持つ。
- ・川岸 尚史 氏：ことのは発達相談室、児童発達支援センターことのは 代表。言語聴覚士。
- ・川島 美南 氏：登校渋りや不登校のお子様の保護者を支える市民団体 バジルの会 役員。不登校の経験を持つ子どもの保護者。

第2回

10月18日(土)

北海道情報大学

江別市西野幌59番地2（通信教育部事務部）
電話011-385-4427

会場／校舍棟1号館 106教室



講義
1

9:30~11:00

雇用の未来

経営情報学部 教授 向原 強 氏

【講義内容】近年、コンビニやスーパーのセルフレジや、飲食店での配膳ロボットなどを目にするのも多いと思います。アメリカでは、AI 技術の進歩によって、これまで人間が行っていた仕事のうち、約半分の仕事がロボットやコンピュータに奪われるかもしれないということを予測した論文が話題になりました。これはアメリカだけの話ではありません。日本の雇用の未来はどうなるのでしょうか？地方という観点からも考えてみたいと思います。

【プロフィール】1967 年 夕張郡由仁町生まれ。1993 年 北海道大学大学院経済学研究科を修了後、日本油脂株式会社（現 日油株式会社）に勤務。2000 年 北海道大学大学院経済学研究科（助手）。2001 年～ 北海道情報大学に着任。2011 年～ 現職。学位 博士（経営学）北海道大学。

講義
2

11:10~12:40

昔、こんな英語の授業、受けたかったな～

経営情報学部 准教授 ライアン ジョエル 氏



【講義内容】昔ながらの「受験英語」は、正しくきれいな英語を覚えることに重点を置き、苦手意識を生む一因にもなってきました。本学でライアンは「伝われば良い」という理念のもと、会話中心の授業を展開しています。片言英語やジェスチャーも交え、とにかく楽しく交流できる授業を江別市民の皆様にも体験していただけるよう準備しています。3～4人組で頻繁に席替えしながら、たくさん話すスタイルです。

【プロフィール】1973 年アメリカ・ミネソタ州生まれ。ミネソタ大学卒（英語・ラテン語専攻）。印刷会社で校正を経験後、2001 年来日し、中学校・小学校でALT として勤務。2008 年札幌学院大学講師、2012 年より北海道情報大学専任講師。2021 年マッコーリー大学（シドニー）にて言語学博士号取得。現在に至って、超実践的な英語授業に取り組んでいます。英語で話す苦手意識を払拭するプロです。お任せください。

第3回 10月25日(土)

酪農学園大学

江別市文京台緑町582番地（社会連携センター地域連携課）

電話011-388-4131

会場／C1号館 101教室



講義
1

9:30~11:00

知らずに食塩をとりすぎていませんか？～健康長寿のために～

農食環境学群 食と健康学類 准教授 木村 宣哉 氏

【講義内容】私たちは様々な食品から食塩を摂取していますが、どの食品や料理が主な摂取源となっているかご存じでしょうか。減塩の重要性は広く知られていますが、「どれくらい食塩を摂っているかわからない」「減塩は難しい」と感じる方も多いのが現状です。本講座では、減塩に関する様々なエビデンスや最新の話題を紹介し、健康づくりの第一歩として、日常生活で無理なくできる減塩について考えていきましょう。

【プロフィール】看護師・保健師・管理栄養士。北海道大学大学院保健科学院で修士号、青森県立保健大学で博士号を取得。栄養士として給食業務に従事したほか、産業保健師として企業で健康管理業務に従事。2018年より酪農学園大学に助教として着任し、2025年から現職。主に健康・栄養改善やヘルスリテラシーに関する教育・研究活動に取り組んでいる。

講義
2

11:10~12:40

酪農から考えるがんばらない生き方

農食環境学群 循環農学類 教授 吉野 宣彦 氏



【講義内容】長時間労働、多額の借金、そして近年は資材価格高騰で、大変そうなイメージの酪農です。しかし、たくさんの新規参入者が憧れる職業でもあります。酪農家の皆さんは過酷な営農をどんな風にやりくりしているのでしょうか？350戸、20年間の経営データなどを用いて、酪農の大変さと魅力を解説します。そこで見えるのは、生き方のヒントでは？クイズを交えながら、酪農のウラ側をのぞいていただきます。成績のよい方には、うしのはかせオリジナルグッズが当たります。

【プロフィール】北海道・別海町出身。1990年北海道大学農学部大学院単位取得退学。2007年博士（農学）。

職歴：1990年(社)北海道地域農業研究所研究員、1995年酪農学園大学講師。

著書：単著(2008)『家族酪農の経営改善』日本経済評論社、共著(2006)『北海道農業の地帯構成と構造変動』北海道大学出版会、など。

作品：イラスト「ぼくらの教室は大自然！」(2015)、「僕らの教科書は大自然！」(2014)など(以上『少年ジャンプ』掲載)。

第4回 11月1日(土)

札幌学院大学

江別市文京台11番地（教育支援課）

電話011-386-8111

会場／江別キャンパスG館1階 S GUホール

講義のほか、グループ
ディスカッションあり

講義
1

9:10~10:40

人生100年時代の“しあわせな老い”を考える

人文学部 准教授 新田 雅子 氏

講義
2

10:50~12:20

心理学部 教授 斉藤 美香 氏

【講義内容】1963年に全国でわずか153人だった100歳以上の方（センテナリアン）は、2023年には9万2,139人へと増加しました（厚労省,2023）。人生100年が現実となった今、健康寿命（男性72.6歳・女性75.4歳、厚労省,2022）にも注目が集まっています。どのように年を重ねていくかが、ますます大切な時代になってきました。本講座では、社会福祉と臨床心理の視点から話題提供を行い、参加者同士のグループディスカッションを交えながら、心豊かな老いへのヒントをともに考えていきます。

【新田 雅子 氏 プロフィール】2001~2002年度：(財)東京都老人総合研究所 認知科学研究系精神医学部門研究生。2003年3月：立教大学社会学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学。同年4月~現在：札幌学院大学人文学部人間科学科。2016年10月~2018年3月：江別市 介護保険事業計画策定等委員会委員長。2022年4月~2023年8月：江別市 行政審議会委員。2024年5月~現在：札幌市 住まいの協議会委員。研究分野は福祉社会学、老年社会学、高齢者福祉論。

【斉藤 美香 氏 プロフィール】札幌市出身。上智大学大学院文学研究科教育学専攻心理コース博士後期課程満期修了。総合病院等（精神科・小児科・老年科等）での勤務を経て、北海道大学保健センターなどで大学生・保護者及び教職員のメンタルヘルス支援に携わる。2017年より札幌学院大学の教員。現在、本学心理臨床センターにて、介護予防センターと連携し、地域の高齢者の脳トレと回想法プログラムの実践研究を行っている。公認心理師、臨床心理士。研究分野は学生相談、精神分析、高齢者における回想法。



閉講式

12:20~13:00

市民カレッジ学位授与式

11月1日(土)の閉講式で、市民カレッジ学位の授与を行います。
閉講式で学位の授与を希望される方は、10月18日(土)までに申請してください。

ふるさと江別塾参加申込書＜F A X用紙＞

受講希望講義に✓を付けてください。(複数可)

- ➡ 第1回 北翔大学 □ 講義1 不登校・行きしぶりのこども・家庭の理解と関わり
10月11日(土) □ 講義2 不登校・行きしぶりのこどもと家庭のために、学校と地域ができること
- ➡ 第2回 北海道情報大学 □ 講義1 雇用の未来
10月18日(土) □ 講義2 昔、こんな英語の授業、受けたかったなー
- ➡ 第3回 酪農学園大学 □ 講義1 知らずに食塩をとりすぎていませんか?～健康長寿のために～
10月25日(土) □ 講義2 酪農から考えるがんばらない生き方
- ➡ 第4回 札幌学院大学 □ 講義1 人生100年時代の“しあわせな老い”を考える①
11月 1日(土) □ 講義2 人生100年時代の“しあわせな老い”を考える②

お申込日	月 日	えべつ市民カレッジ生ですか	はい ・ いいえ
フリガナ		電話番号	— —
お名前			
ご住所	〒 —		

※申込書に記入いただいた個人情報は本事業以外には利用いたしません。

新規「えべつ市民カレッジ」の申込

えべつ市民カレッジ生の申込はされましたか?市民カレッジとは「えべつ市民カレッジ手帳」に受講時に貰えるシールを貼ることで、自分がいつ、どんな講座を受講したのかを記録できます。受講シールが一定数以上になると、その数に応じて、修了証(学位)を受けることができます。

手帳希望の方の方は✓をご記入ください。 ➡ ☐

生年月日	大正・昭和・平成・西暦 年 月 日 生	Eメール アドレス	〈記入なしでも可〉
------	------------------------	--------------	-----------

申込書送信先／江別市教育委員会生涯学習課(〒067-0074 江別市高砂町24番地6)

FAX 011 - 382 - 3434

会場と最寄りのバス停留所 (大学には駐車場あり)

